栃木県吹奏楽連盟＜季刊＞広報誌 平成28年度１号

吹奏太郎

目　次

★ **理事長　巻頭言　「天高く・・・・」** …… 1
栃木県吹奏楽連盟理事長　　山本　伸子

★ **1．平成28年度　東関東吹奏楽連盟　マーチング講習会・発表会** …… 1
ザ・ワールド・オブ・ブラス　2016　in　県民プラザ
青藍泰斗高等学校　吹奏楽部部長　3年　小菅　梨奈

★ **2．第22回東関東バンド・セッション2016及び 第17回東関東選抜吹奏楽大会　報告** …… 2
第17回東関東選抜吹奏楽大会に参加しての感想
真岡市立真岡西小　吹奏楽部部長　押久保歩那
吹奏楽部顧問　有馬　大志

東関東高等学校選抜バンドに参加しての感想 …… 3
栃木県立宇都宮南高等学校　小室　有加　角田　瑞穂　梁川　湖々
作新学院高等学校　伊藤　拓海　渡邊　悠太　金子　夏希　森田梨香子
栃木県立宇都宮北高等学校　地神　風花　吉原　佑実　谷中　裕美

★ **3．第22回東関東吹奏楽コンクール　報告** …… 4
《高等学校の部A部門》　那須塩原市立三島中学校　ブラスバンド部顧問　渡邊　史章
《高等学校の部Ｂ部門》　栃木県立宇都宮白楊高等学校　吹奏楽部顧問　折原佑紀子

★ **4．第16回東日本学校吹奏楽大会に参加して** …… 6
平成28年10月9日(日)･10日(月・祝)　会場：東京都・府中の森芸術劇場どりーむホール
真岡市立真岡東中学校　吹奏楽部部長　泉　幹大
吹奏楽部副部長　柴山　真由
吹奏楽部副部長　池上　大翔
吹奏楽部顧問　小宅　宏美

★ **5．第58回栃木県吹奏楽コンクール　報告** …… 7
平成28年8月2日（火）　会場：真岡市民会館
《中学校の部Ｂ部門》　茂木町立中川中学校　吹奏楽部顧問　涌井　紀子

★ **6．コンサート情報** …… 7
栃木県吹奏楽連盟加盟団体から広報部に寄せられたコンサートの情報

★ **編集後記** …… 8
栃木県吹奏楽連盟副理事長　広報部長　　三橋　英之（作新学院高校）

理事長　巻頭言

「天高く‥‥」

栃木県吹奏楽連盟理事長　山本伸子

吹奏楽コンクールお疲れさまでした。

小・中・高・大・一般、177団体が出場した今年度の吹奏楽コンクールは、宇都宮市文化会館が改修工事のため、真岡市の真岡市民ホールで開催されました。皆様にはご不便をおかけしたかと思いますが、皆様のご協力により無事終了できましたことを感謝申し上げます。

今回は、理事長が各全国大会に理事として参加のため、私が書かせていただくことになりました。

コンクールが終わり、あっと言う間に秋になってしまいました。学校ではそろそろ3年生が引退し、新体制に代わって来たところもあるでしょう。「実りの秋、天高く馬肥える秋」　私たちが実らせ、肥えさせるのは何でしょう?

そう、今が一人一人の音を豊かに肥やし、次の行事のアンサンブルコンテストという良い機会を活かして、次年度の活動を実らせるための蓄えの時期です。身体ばかりでなく、音と音楽を肥やしてください。

最後になりますが、栃木県吹奏楽連盟が宇都宮市明保野町に初めて事務所を構えた時の初代の専任事務局員として働いてくださった、鈴木とも子先生が先日お亡くなりになりました。ご家族のお話では、教職を退いた後、吹連の仕事を大変喜んでやっておられたとのことでした。ありがたいことです。皆様からの問合せの引継ぎや細かい事務仕事等、こういう事を喜んでやってくださる方がいて、はじめて177団体がスムーズにうごけるのだなと感じました。

ご冥福をお祈り申し上げます。

❶ 平成28年度　東関東吹奏楽連盟　マーチング講習会・発表会
ザ・ワールド・オブ・ブラス　2016　in　県民プラザ

平成28年5月14日（土）さわやかちば県民プラザ・千葉県立柏の葉公園

「ワールド・オブ・ブラス」に出場して

青藍泰斗高等学校　吹奏楽部部長　3年　小菅梨奈

今回の「ワールド・オブ・ブラス」は私たちにとって初めてのことばかりで、とても緊張しました。1年生は入部してから1ヶ月も経たない中、マーチングと楽器の練習の両立で苦戦をしていました。限られた練習時間の中、先輩についていくことだけで必死でした。私自身も、初めての舞台でとても緊張していました。

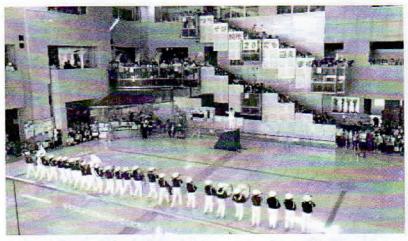
今回演奏した曲は「ガールズ&パンツァー組曲」です。この曲は5つの楽章で構成されており、それぞれの表情が豊かな作品です。この曲中には幾つかのソロがあり、私はその1つのソロを吹きました。ソロを任されるのは初めてのことで、いつも以上に興奮気味で本番に挑みました。ソロが終わるとたくさんの拍手をいただき、とても嬉しかったです。演技後、多くの人に「ソロ良かったよ」と言われて頬の緩みがおさまりませんでした。

今回の参加は、私たちにとってとても貴重で思い出深いものとなりました。1年生が初となるマーチングの舞台、他校のマー

曲の冒頭。会場は360度3階までお客さんがいっぱいでした。

一番前でソロを吹いている（クラリネット）のが感想文を書いてくれた小菅さんです。

チングの舞台、他校のマーチング演技や演奏を初めて見る者もいてとても勉強になるなど、参加することによって得たものはとてもたくさんありました。私も最高学年としての心構えを持ち、最高のチームとメンバーを育てていきたいと思えた舞台になりました。



ショーの一番の見せ場、カンパニーフロント。前方にも鈴なりのお客様。

❷ 第22回東関東バンド・セッション2016 及び 第17回東関東選抜吹奏楽大会 報告

平成28年6月11日(土)・12日(日) 会場 ひたちなか市文化会館

「東関東選抜吹奏楽大会に参加して」

真岡市立真岡西小 吹奏楽部部長 押久保歩那

今年の 6 月 12 日私たち真岡西小学校吹奏楽部は茨城県のひたちなか市で行われた東関東選抜吹奏楽大会に出場しました。顧問の有馬先生から、栃木県の代表として選抜大会に出除することが決まったと聞いたときは、嬉しい反面、代表というプレッシャーも強く感じました。それは、先輩が卒業し、私たち 6 年生中心の新体制となって、わずか 2ヶ月で本番を迎えなければならなかったからです。「先輩達に恥じない演奏をしよう」と翌日から一生懸命練習に励みました。

大会当日、ひたちなか市文化会館には、中学生や高校生がたくさんいました。緊張で部員達から笑顔が消えていくのを感じました。その時、私達に向かって手を振っている人がいました。卒業した先輩達が応援に駆けつけてくれたのです。心強い応援に心からホッとしたのを覚えています。

出演は 10 番目でした。1 曲目は「線路は続くよどこまでも」2 曲目は「海峡の護り～吹奏楽のために」、3 曲目は「アニー」です。緊張は最後までほぐれませんでしたが、後悔の無い演奏ができたと思っています。結果は銀賞を頂きました。どの学校もとても上手だったので、銀賞を頂くことができて本当に嬉しく思いました。

今回、このようなチャンスを頂き、栃木県の代表として演奏できたことを誇りに思い、これからも頑張っていきたいと思います。

「最高のプレゼント」

真岡市立真岡西小 吹奏楽部顧問 有馬大志

この度は 6 月 12 日に行われた東関東選抜吹奏楽大会に栃木県代表として参加させて頂き、ありがとうございました。参加のお話を頂いた 2 月時点で、6 年生が引退し、部員数は 20 名でした。「栃木県代表としてふさわしい演奏ができるだろうか」、と不安に思う気持ちはありました。しかし、歴代の部員達の頑張りが、「一緒に吹奏楽をやりたい」と学校の児童の心に火を付けたようで、新体制が始まってみると部員が集まり、部員数総勢 37 名となりました。

半数近くの部員がホールで演奏する事自体生まれて初めて、といった状況でしたので、会場に着いてからは、皆ソワソワと緊張した様子でした。しかし、怖い物知らずな小学生の特権でしょうか、演奏が始まると、いつも通りの元気いっぱいな音楽をお客さんに届けることができました。生まれて初めて体験する大きな舞台で、お客さんから拍手を頂いた事は、新入部員達への最高のプレゼントとなりました。

この大会に指揮者として参加させて頂いた事も、私自身にとって特別な経験となりました。実は、私は高

校 3 年生の時、三橋英之先生の指揮で東関東高校選抜バンドの一員としてこの大会に参加させて頂きました。その時の大会のレベルの高さから、「いつか指導者として選抜大会に参加できたら…」というのが私の夢の1つでありました。…まさに夢がかなったのです。この経験を栃木県の吹奏楽の為に少しでも役立て、恩返しをしていけたらと思います。

このような素晴らしい機会を私たちに与えて下さった理事長の石塚武男先生を初め、栃木県吹奏楽連盟の皆様に厚く御礼申し上げたいと思います。

「東関東高等学校選抜バンドに参加しての感想・東関東バンドセッション2016報告」

栃木県立宇都宮南高等学校　小室有加・角田瑞穂・梁川湖々

小室有加……短い時間の中で新たな仲間と音楽を楽しむことができ、改めて吹奏楽の魅力と触れ合うことが出来ました。

角田瑞穂……強豪校の音を聴くだけではなく、共に演奏できたことはとても貴重な経験でした。

梁川湖々……今までにない刺激的で充実した時間を、そこで出会った仲間と共有できたことは一生の想い出になりました。

「第22回東関東バンドセッションに参加して」

作新学院高等学校吹奏楽部 3年　渡邊悠太・伊藤拓海・金子夏希・森田梨香子

私達は6月に茨城県で行われた第22回東関東バンドセッションに参加をし、沢山のことを学びました。常総学院吹奏楽部顧問の本図智夫先生のご指導のもと常総学院吹奏楽部の皆さんをはじめとする各県の高校生が集まり東関東選抜バンドとして演奏をしました。

最初は初対面ということもあり、緊張していましたが一緒に食事をしたり一夜を共に過ごしたりして仲良くなり、今も尚連絡を取り合っています。

二日間という短い時間でしたが一生に一度しか集まることのできないメンバーでの演奏はかけがえのない思い出となりました。また、お互いの良いところを吸収し合うことができ、
ここでの経験はその後の活動に生かされています。

来年は栃木県での開催です。今回の私達のように参加した高校生が素晴らしい経験ができたと思ってもらえるよう栃木県の魅力を存分に発揮し1・2年生には餃子パワーで頑張ってほしいと思います。

「東関東選抜バンドに参加して」

栃木県立宇都宮北高等学校　吉原佑実・谷中裕美・地神風花

私達は 6 月 11、12 日の 2 日間、茨城県ひたちなか市で行われた第 22 回東関東バンドセッション 2016 東関東選抜バンドに、栃木県代表として参加しました。東関東の 4 県から選抜された 65 名の高校生が、2 日間の短い日程の中で、力を合わせて演奏を作り上げるという素晴らしい経験を通して私達は多くのことを学びました。また、吹奏楽という共通点のおかげで他県の生徒とも初めて会ったとは思えない程すぐに打ち

解け、メンバー同士の絆も深まりました。

この選抜バンドを指揮、指導して下さった常総学院・本図智夫先生には感謝と尊敬の気持ちでいっぱいです。その日初めて顔を合わせた65名のメンバーを、限られた時間の中でまとめてくださり、合奏の中での一つ一つのアドバイスは非常に丁寧で分かりやすく、かつ的確でした。合奏の合間には、パート同士で注意されたところを合わせたり、メンバー同士でも注意し合ったりする姿がとても印象的で、「切磋琢磨」とはまさにこのことだと感じました。全員が本図先生の一言一言を、そして周りのメンバーの技術を吸収しようとしていて、本当に感動しました。先生のご指導のおかげで、自分自身をより高めることが出来たと思います。

今回の大会で、音楽を深く追求し、作り上げることの楽しさや、他校の生徒がどのように音楽と向き合い、自分自身を高めているのかを知ることができました。この貴重な経験を活かし、これからも日々努力していきたいと思います。

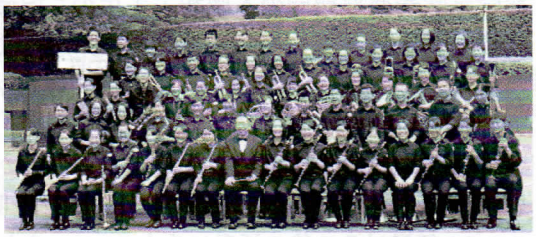
❸ 第22回東関東吹奏楽コンクール報告

平成28年6月7日(土)・8日(日)　会場　足利市文化会館　大ホール

《中学校の部A部門》

「第22回東関東吹奏楽コンクールに参加して」

那須塩原市立三島中学校　ブラスバンド部顧問　渡邉史章



去る9月4日（日）、千葉県文化会館で行われた東関東吹奏楽コンクールに出場させていただきました。今年度は、3年生29名という例年にない人数にも恵まれ、県予選、代表選考会を突破し、6年ぶりの東関東大会出場を果たすことができました。

今年度の自由曲は、真島俊夫先生作曲の「富士山−北斎の版画に触発されて−」でした。もともと真島先生の曲が大好きで、これまでも幾度か自由曲で演奏させていただきましたが、ダイナミックかつ繊細なこの曲は、私や生徒たちのお気に入りの1曲でした。ところが、この曲を自由曲に選んだ矢先に真島先生が御逝去され、私たちは大変な衝撃を受けました。先生が曲に込めた思いを伝えられるよう、精一杯気持ちを込めて演奏していこうと、皆で心に決め、練習に励んできました。夏休みに入ると、音楽室に北斎の木版画を拡大して掲示し、イメージを膨らませました。県予選終了後、ある方から「真島俊夫は生きている、と感じさせるような演奏でした。」という御言葉をいただきました。私たちにとっては、この上のない何よりの御言葉でした。この言葉を胸に、東関東のステージでも、聴いて下さる方々に思いを伝えよう、失敗を恐れずに前を向いて演奏しよう、と皆で話し合いました。

東関東大会当日。三島中学校の出演順は2番でした。1番目の学校は、千葉県代表の酒井根中学校。舞台袖で全国レベルの演奏を目の当たりにし、圧倒されましたが、自分たちの演奏をしようと気持ちを切り替えてステージに臨みました。千葉県文化会館は、重厚な歴史を感じさせるようなホールで、その舞台に立つことができる幸せを感じながら、生徒たちは精一杯に思いを伝えることができました。演奏を終えた生徒が、皆達成感に満ちたすがすがしい笑顔をしていたのが心に残っています。

結果は銅賞でしたが、ここに至るまでに、これまで経験することができなかった多くのことを学ぶことができました。生徒たちには、この経験を生かし今後の音楽活動をより豊かなものにしていってほしいと思います。また、この舞台に立つまでに多くの先生方や保護者の皆さんに支えられてきました。この場をお借りして、これまで支えて下さった皆さんに御礼申し上げます。大変ありがとうございました。

《高等学校の部Ｂ部門》

「東関東吹奏楽コンクールに参加して」

栃木県立宇都宮白楊高等学校　吹奏楽部顧問　折原佑紀子

本年度の東関東吹奏楽コンクールは、宇都宮市民にはなじみのある栃木県総合文化センターにて行われました。宇都宮白楊高校から自転車で 15 分ほどの距離なので、「近いからこそ今年は東関東大会に行けるといいね」という話を生徒としていましたが、一度も金賞を取ったことのない私たちが本当に東関東大会に行くことを、誰も想像していなかったと思います。

私が本校に赴任する前は吹奏楽連盟に加盟していませんでした。赴任と同時に再加盟し、今年で 5 度目の県大会出場でしたが、1 回目は全出場団体のうち下から 2 番目の銅賞、2 回目は最下位という厳しいスタートでした。自分が学生の頃に東関東大会に行けたときの喜びを、生徒にも味わわせてあげたいという思いで指導してきましたが、なかなか結果に結びつかず、葛藤する日々でした。しかし、周囲の方々の支えと生徒の努力が実を結び、本年度ようやく金賞を受賞し、本校初の東関東大会に出場することができました。結果発表時にあまりの驚きに生徒の歓声がどの学校よりも長くなってしまったことや、これまでで最高の笑顔や喜びの涙を見せてくれたことが、今も心に残っています。

東関東大会の会場は、いつもの親しみのある総合文化センターとはまるで異なる空気でした。楽器置き場やバスのフロントガラスに貼られた学校名は知らない名前ばかりで、出場者の衣装や制服も、見たことのないデザインばかりでした。また、県大会のときよりも、出場者 1 人ひとりが落ち着いて行動している、どこか場慣れしているような印象を受け、それが逆に会場の緊張感を生み出しているように感じました。本校の演奏は 9 番で、午前中でした。朝からコントラバスの弓のチップが割れたり、部員の体調が崩れたり、トラブルがあったものの、1 人ひとり落ち着いて行動するように努力していました。しかし、本番が近づき、チューニング室や舞台袖での生徒の様子は、県大会よりも緊張でいっぱいになり、普段の冷静さを失いかけている様子でした。1 度も東関東大会に出たことのない生徒たちにとって、耐えがたいプレッシャーだったと思います。その中でのベストな演奏を本番ではできたと思います。演奏後の集合写真撮影では、やりきった表情と笑顔が見られました。県大会の時は個人のミスが目立ち、練習の成果が全く出せなかったため、涙を流している生徒が多かっただけに、とてもいい表情で写真を撮ることができたことに安堵しました。結果は銅賞でしたが、出場校中最低人数の 20 人で、3 年生 4 人、2 年生 2 人、1 年生 14 人という上級生が非常に少ない中、よく弱音を吐かずに努力を続けてこられたと思っています。

出場校の演奏は、どれも素晴らしいものばかりでした。とても厚みがあり、かつ全員の音がとても溶け合っている、美しいサウンドでした。目標となる演奏にたくさん出会うことができ、とても刺激を受けた時間でした。その中で最も印象に残ったのは、千葉県の銚子市立銚子高校です。ほとんどの団体が 30 人のなか、出場人数が 22 人と、少人数だったのにもかかわらず、それを一切感じさせない 1 人 1 人の高い技術が際立った、レベルの高い素晴らしい演奏でした。指揮をしていた作曲家の樽屋雅徳さんの素晴らしい音楽性を受け、心に響く演奏をしていました。

今回の経験は、私たち宇都宮白楊高校吹奏楽部を大きく成長させてくれました。この経験を元に、生徒たちには人間的にも音楽的にもよりいっそう成長してほしいと思っています。また、卒業後、社会に出てからも、この経験を心の支えにしてほしいと願っています。今後もよりいっそう生徒の成長させられるような活動ができるよう、顧問として尽力していきたいと思っています。今回の東関東大会の開催にあたり、運営や準備に携わられた連盟の方々を始め、本校の部活動指導にご尽力いただいた講師の先生、保護者の方々、多くの方々に、感謝申し上げます。

❹ 第16回東日本学校吹奏楽大会に参加して

平成28年10月9日(日)・10日(月・祝)　会場　東京都　府中の森芸術劇場どりーむホール

真岡市立真岡東中学校　吹奏楽部長　泉　幹大

この度、東日本学校吹奏楽大会に出場することができ、大変光栄に思っています。本校2度目の出場となり、銀賞をいただくことができました。

さて、今回出場するにあたって感じたことは、県大会、東関東大会、そして、東日本大会へと進むにつれて、「音」のレベルが格段に上がっていることでした。特に、東日本大会では、各学校のすばらしい音楽が十分に発揮され、一つ一つの音が輝き、引き立っていました。そんな名誉ある大会に、真岡東中は、栃木県、東関東支部代表として、支えてくださる皆様方への感謝の演奏ができました。

吹奏楽副部長　柴山真由

「人生の大勝負　がんばったぶんだけ東日本に近づく」これが、真岡東中の今年のスローガンです。東日本大会出場は、私たち東中吹奏楽部の最初に決めた目標だったので、出場が決まったときは、言葉にならないほどうれしかったのを覚えています。大会当日は、今までの練習を信じて楽しんで演奏することができました。結果は、銀賞でしたが、部員全員が今まで支えてくださった方々への感謝の気持ちを込めた演奏ができたと思います。

吹奏楽副部長　池上大翔

東日本学校吹奏楽大会では、どの学校も本当にすばらしい演奏でした。自分たちの演奏が、全国のレベルに通用するのか心配でした。本番では、いつもどおりの演奏をしようと心がけましたが、完璧な演奏とはなりませんでした。結果は銀賞でしたが、すばらしい経験をさせていただいたことに誇りをもっていきたいと思います。

吹奏楽部顧問　小宅宏美

この度、府中の森芸術劇場というすばらしいホールで演奏させていただく機会をいただき、心より感謝しています。福島先生作曲の「ラッキードラゴン」は、心情面でよく合う曲ですが難曲です。一度も完璧に演奏することができず、課題だらけのまま本番を終えた感じです。美しい音色、楽器奏法の技術を更に高めていけるようにしたいです。また、芳賀地区の音楽の先生方には、いつも楽器の借用など支えていただきありがとうございました。

❺ 第58回栃木県吹奏楽コンクール報告

《中学校の部B部門》

「最後のコンクール、最高の７人とのコンクール」

茂木町立中川中学校　吹奏楽部　顧問　涌井紀子

茂木町立中川中学校は、今年度をもって閉校するため、今年の夏は最後のコンクール出場となりました。これまで本校でご指導にあたられた先生方、そしてたくさんの卒業生の思いを胸に、最高の演奏をしようと練習に励んできました。

部員は7人。「7人で吹奏楽はできるのだろうか。コンクールに出られるのだろうか。」そんな思いがよぎりました。しかし、答えはすぐに出ました。「私たちには私たちにしかできない音楽がある。中川中としてしっかり演奏して締めくくろう。」と。7人でもコンクールに出ようと決めてからは、一人一人がソリストのつもりで堂々と吹けるように、そして、小編成だからこそのアンサンブル力を高められるようにと練習を重ねました。選曲にも悩みましたが、福田洋介先生の「大江戸らぷそでぃ」に決定しました。打楽器などを掛け持ち、華やかさをプラスしようと工夫を重ねました。試作を重ねた創作打楽器スタンドにより、足でも音が出せるようになりました。（クラベスとあたり鐘は傑作です。）初めこそ困惑していた生徒たちも、次々にアイディアを出し、よい音色を出せるようになってきました。コンクール当日、集合場所からの移動で注目の的となったことは言うまでもありません・・・。ステージでは、緊張しながらも、自分たちらしい演奏を披露することができました。会場からの温かい拍手に胸が熱くなりました。最高の7人との演奏は、一生の宝物になりました。

これまで中川中学校にご支援いただいた多くの方々に感謝いたします。ありがとうございました。

❻ コンサート情報♪

♪ 宇都宮市立姿川第一小学校吹奏楽部
「ニュー・イヤー・ドリーム・コンサート　2017」

日　　時：平成29年1月28日（土）　13時開演
場　　所：宇都宮市立姿川第一小学校　体育館　※入場無料
演奏曲目：歌劇「アイーダ」から・マジェスティア・A. Sax独奏「追憶のテーマ」・T. Sax独奏「愛を感じて」・Tp独奏「虹の彼方へ」・しもつけ7「ルパン３世のテーマ」　他
問い合せ先：丸山雄史　028-659-2522

♪ 作新学院高校吹奏楽部　フレッシュ・グリーンコンサート

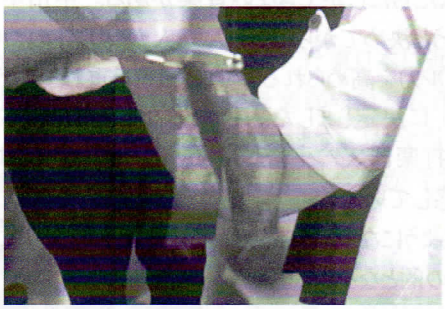
日　　時：平成29年5月21日（日）　15時00分開演予定
場　　所：宇都宮市文化会館・大ホール
入 場 料：前売り・大人¥800-　高校生以下¥500-　（当日券は各¥200-増）
演奏曲目：2017全日本吹奏楽コンクール課題曲、ニュー・サウンズ・イン・ブラス、ステージ・ドリルショー
問い合せ先：吹奏楽部　090-3318-6826　平日16時～19時　休日9時～18時

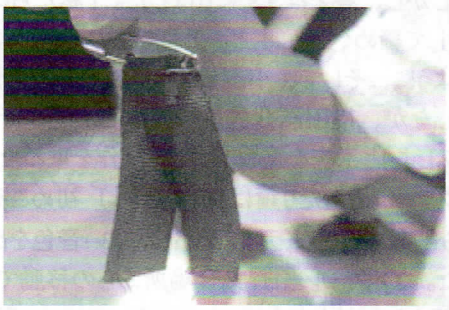
♪ 作新学院高校吹奏楽部＆東京農業大学第二高等学校ジョイントコンサート

日　　時：平成29年6月4日（日）　14時00分開演予定
場　　所：群馬音楽センター
入 場 料：前売り・大人¥1000−　高校生以下¥500−　（当日券は各¥200−増）
演奏曲目：2017全日本吹奏楽コンクール課題曲、2017ニュー・サウンズ・イン・ブラス、マーチングショー
問い合せ先：吹奏楽部090−3318−6826　平日16時〜19時　休日9時〜18時

編集後記

栃木県吹奏楽連盟副理事長 広報部長　三 橋 英 之(作新学院高校)





この写真は何の写真だかおわかりでしょうか?

吹奏楽コンクールの出演者章のリボンです。コンクールの時に団体受付で出演者と打楽器搬入補助員に配付されるものです。

まれに数が合わずに出演団体に迷惑をかけることがありますが、全て事前に手作業で準備します。たかがリボンですが、手間暇かかって出演者の皆さんの手に行き渡ります。リボンの長さがほぼ均一になるように物差しで測り、カットし、安全ピンとともに袋詰めします。もちろん、出演日別に仕分けします。膨大な数なので、結構な時間を要します。コンクールの前日仕込みの時では、とても間に合いませんので、別途時間を作って準備しています。コンクールの入場券や出演者入場券も同様です。事務局サイドのご苦労に、ただ、感謝するしかありません。

その事務局を長く支えてくださった鈴木とも子先生の訃報を聞き、改めて先生の栃木県吹奏楽連盟に対する献身的なご奉仕に感謝するとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

また、事務局の皆さんが私たちの見えないところで、加盟団体のために日夜奔走していただいていることに感謝申し上げたいと思います。

さて、年々感じていたことですが、今年度のコンクールでも少子化の影響を強く感じました。最小7人で出場した茂木町立中川中学校をはじめ、多くの学校で、少ない出演人数で出場していました。東関東吹奏楽コンクールでも同じような傾向が見られました。もちろん全国的な現象で、今後ますますその影響は増していくと思います。東関東吹奏楽コンクール高等学校の部A部門でさえ、55人に達していない団体がありました。

近年、小編成を意識した楽譜が多く出版されるようになり、それはそれで、小さな学校にはありがたいことですが、小規模校の先生が日々創意工夫され活動し、大変苦労していることを考えると、指導している先生に頭が下がります。目の前に吹奏楽に熱中している生徒が大勢いるのですから、忙しいからと手を抜くことなく、部員たちと向き合っていこうと自分自身にも言い聞かせたところです。次年度に向かって頑張っていきましょう。

広報部にご意見をお寄せください。また、原稿を依頼しましたら、快諾していただき、期限内にご送付いただけますようお願いします。